

# 第35回施肥技術講習会／講義スケジュール表

2023年2月15日(水)～16日(木)

主催：(一社)全国肥料商連合会 後援：農林水産省

NO	2月15日(水)		講師	講義内容
	8:30	受付		ハーネル仙台(労働福祉センターみやぎ)3階 蔵王B
	9:15～9:30	開講式		
1	9:30～10:20		農水省	I.「肥料の品質の確保等に関する法律」の概要
	10:20～10:30	休憩		
2	10:30～11:10	<基礎コース>	後藤	II-①. 土壌と施肥の基礎知識 1. 土壌の生成・分類・特性 2. 土壌の物理性、化学性、生物性
3	11:10～11:50	<実学コース>		II-②. 土壌診断分析に基づいた施肥 1. 肥料価格高騰対策にも役立つ土壌診断 2. 国産バイオマス・未利用資源の肥料利用
	11:50～12:40	昼食		昼食(弁当を準備しております)
4	12:40～13:20	<基礎コース>	小川	IV-①. 施肥の原理と肥料の種類・特性、施肥の方法 1. 施肥の原理、肥料資源の有限性 2. 肥料の分類と特性 3. 施肥量の決定方法
5	13:20～14:00	<実学コース>		IV-②. 環境にやさしい施肥技術 1. 農業と環境、物質循環の破綻と環境影響 2. あふれる窒素をどうする 3. 環境にやさしい肥培管理とは
	14:00～14:10	休憩		
6	14:10～14:50	<基礎コース>	渡辺	III-①. 肥料学は現在も進歩しつつある 1. 植物の必須元素と日本人のミネラル摂取基準 2. 農水省が硝酸性窒素について考え方を変えた 3. 堆肥施用で生じる微量元素欠乏
7	14:50～15:30	<実学コース>		III-②. 肥料学は現在も進歩しつつある 1. 2015年世界的にケイ酸は高等植物にとって、有益な物質として認められた 2. リービヒの無機栄養説は植物の能力を見過ごしていた
	15:30～15:40	休憩		
8	15:40～16:20	<基礎コース>	六本木	V-①. 作物別特性と施肥法 1. 水田土壌の特徴と施肥(水稲) 2. 畑土壌の特性と施肥(露地野菜) 3. 施設土壌の特性と施肥法 4. 果樹園の土壌の特性と施肥
9	16:20～17:00	<実学コース>		V-②. リアルタイム診断と施肥管理 1. 養液土耕栽培(かん水同時施肥) 2. リアルタイム栄養診断と必要性な3条件 3. リアルタイム診断の手順 4. 栽培現場における診断(硝酸イオン、りん酸の測定)
	17:00～17:15	閉講式		
	2月16日(木)			※基礎コースのみ実施します。
	8:30	受付		ハーネル仙台(労働福祉センターみやぎ)4階 青葉
10	9:00～10:20	実演講習	メーカー技師	VI. 簡易土壌分析機器・放射線測定器 環境放射線モニタRadi、コンパ外水質計LAQUAtwin/ みどりくん//RQフレックス/農家のお医者さん
	10:20～10:30	休憩		
	10:30～11:30	検定試験(1)		ハーネル仙台(労働福祉センターみやぎ)4階 青葉
	11:30～11:45	休憩		
	11:45～12:25	検定試験(2)		ハーネル仙台(労働福祉センターみやぎ)4階 青葉
	12:25～12:40	閉講式		終了後解散

\*講義内容は、一部変更になる場合がありますご了承ください。

## 第 35 回全肥商連施肥技術講習会 講師プロフィール

(敬称略)

### 渡辺 和彦 (わたなべ かずひこ)

元兵庫県立農林水産技術総合センター部長、元東京農業大学客員教授  
兵庫県立農業大学校嘱託、吉備国際大学非常勤講師  
(一社)食と農の健康研究所所長、農学博士

植物栄養生理、微量元素の第一人者 食と農(ミネラルと人の健康)に造詣深く啓蒙に務められる。「野菜の要素欠乏・過剰症」、「原色生理障害の診断法」、「農業技術大系・土壌施肥編」、「ミネラルの働きと人間の健康」、「人を健康にする施肥」(総合監修)、「肥料の夜明け」他海外を含む著書多数執筆

### 後藤 逸男 (ごとう いつお)

東京農業大学名誉教授 東京農大発(株)全国土の会代表取締役  
「全国土の会」会長 (農家のための土と肥料の研究会)

農学博士 土壌学及び肥料学を専門分野とする。土壌病害の総合防除対策、土壌改良資材の研究開発。農業生産現場に密着した実践的土壌学を目指す  
「環境保全型農業事典」、「土壌学概論」、「施肥管理と病害発生」(共著)、  
「土壌・肥料・植物栄養学用語集」、「土壌サイエンス入門」他多数執筆

### 小川 吉雄 (おがわ よしお)

元茨城県農業総合センター園芸研究所 所長

元鯉淵学園農業栄養専門学校教授、元東京農業大学客員教授

農学博士 土壌・肥料学、米麦・畑作物栽培等を専門分野とする。

窒素循環の再生技術を研究、農業と環境問題を研究。「土壌肥料用語事典」、  
「地下水の硝酸汚染と農法転換」、「トコトンやさしい土壌の本」(共著)他多数

### 六本木 和夫 (ろっぽんぎ かずお)

元埼玉県農林総合研究センター園芸研究所果樹担当部長

元女子栄養大学非常勤講師、日本石灰窒素工業会技術顧問

農学博士 野菜、果樹の土壌診断及び効率的施肥管理技術の研究に従事

農業経営を通じ、現場で役立つ施肥管理技術を実践。「野菜・花卉の養液土耕」  
(共著)、「リアルタイム診断と施肥管理」、「土壌肥料用語事典」他多数執筆

### 農林水産省 (肥料の品質の確保等に関する法律の概要)

(予定) 農林水産省 消費・安全局農産安全管理課 専門担当官

以上

# 第35回施肥技術講習会 受講申込みの際の注意及び確認事項

(全国肥料商連合会事務局：TEL03-3817-8880)

## 【申込時に予めご了承・ご理解頂きたいこと】

「募集要項」の「15. 特記事項」の項でもご案内しておりますが、今後の新型コロナウイルスの感染拡大状況によっては、感染防止の観点より、開催直前に講習を延期する・中止する、等々、申込時のご案内と異なった対応を取らざるを得ない状況になる事が想定されますので、予めご了承頂きたく宜しくお願い申し上げます。

### < 1 > 申込の方法

- 申込用紙に記入の上、**必ずFAXにて**全肥商連本社宛てにお申込み願います。  
\* 氏名の欄に漢字だけでなく、**フリガナを記載**するように願います。
- 申込の変更やキャンセル**は、**必ずFAXで**行うよう願います。
- 受講料等の支払いで、**請求書や領収書が必要な方は、申込時にFAXにその旨記載**願います。また領収書の費目（但し書）は「受講料として」と記載致しますので、**これ以外の費目での領収書が必要な方は、具体的な費目名・その金額をFAXに記載**願います。
- 申込用紙をFAXで送付頂くと、申込の完了となります。  
締め切り日の令和5年1月18日以降に、本部より講習会開催可否の連絡をさせていただきます。  
その際に、受講料の支払口座、期日等を連絡致します。
- 上記第4項に関する連絡は原則E-Mailで行います**（情報伝達の早さと正確性の観点より）。  
従い、**申込FAXに必ずE-Mailアドレスを活字体で正確に記載**願います。  
また **申し込み以降はその他の連絡等も原則E-Mailで行います。**  
E-Mailは、以下事務局3名宛てで発信願います（本紙1名、写し2名の連名）。  
To: hagimori.zenpishoren@crest.ocn.ne.jp  
Cc: nishide.zenpishoren@true.ocn.ne.jp  
Cc: muraguch.zenpishoren@eagle.ocn.ne.jp
- E-Mailアドレスをお持ちでない方は、FAX番号を記載願います。  
E-MailアドレスもFAX番号もお持ちでない方は、**本人と直接連絡が取れる電話番号**をご記載下さい。

### < 2 > 受講料

基礎コース		
新教材「改訂版 土と施肥の新知識」	会員・一般	普及職員
上記教材が必要な方 →	¥20,750	¥10,750
既にお持ちの方 →	¥18,000	¥8,000

  

実学コース	
会員・一般	普及職員
¥20,000	¥10,000

### < 3 > 受講料の支払方法

- 期日、支払口座の明細等を後日連絡致しますので、必ず**銀行口座振込**で願います。  
※その際、領収書の必要な方は、お申し出ください（必要とする費目と金額をご指示願います）。
- 期日に間に合わない場合は事務局に連絡し、再指定された期日までに必ず振込で行うようお願い致します。

### < 4 > 已を得ない事情でキャンセルする場合

- 已むを得ない事情でキャンセルする場合、可及的速やかに全肥商連事務局へ連絡願います。  
急ぎで電話で連絡した場合でも、**確認のため追ってキャンセルの旨をFAXで**送信願います（お申込時に使用したFAXに“キャンセルします”と手書きで記入して送信頂ければ結構です）。
- キャンセルした日が講習会開催日の3営業日前にかかり、手配した昼食等キャンセル出来ない場合は実費をご負担いただきますのでご了承願います。
- キャンセルした場合、受講料は2. の実費と振込手数料を差し引いた金額を、後日指定口座に振込にて返金致します。従って、**キャンセルをFAXで連絡する際に返金を受領する口座の詳細を必ずご記載**願います。